

政治家の心得

氏 名 宮川 省治

信用されない政治と言われて久しい。政治に期待をしていない人が増えてきているのを日々実感している。そんな状況の中、渡辺猛之先生のお話を伺った。政治家は決してほめられないという。すべての仕事においてほめられると言うことは非常に少ない。しかし、責任の大きい政治家であれば、それに対するプレッシャーも相当大きい。そのため政治家になるには本人の強い心が無ければなることは出来ない。そして政治家になるための心得を伺った。これは各個人の考え方で大きく変わるが、やはり自分信じて行動する心がなければ出来ることではない。色々の意見があり、要望があるが、自分の真を持って行動すると言うことが一番必要ではないかと考える。

人に信用して貰うと言うことが非常に重要である。人の代表であることが前提の仕事であるため、人から信用を受け、相談され、そして解決をする能力が不可避である。この人に任せても良いと思わせて、その期待に全部ではないかもしれないが、それに応えていくと言うことが非常に重要ではないかと考える。